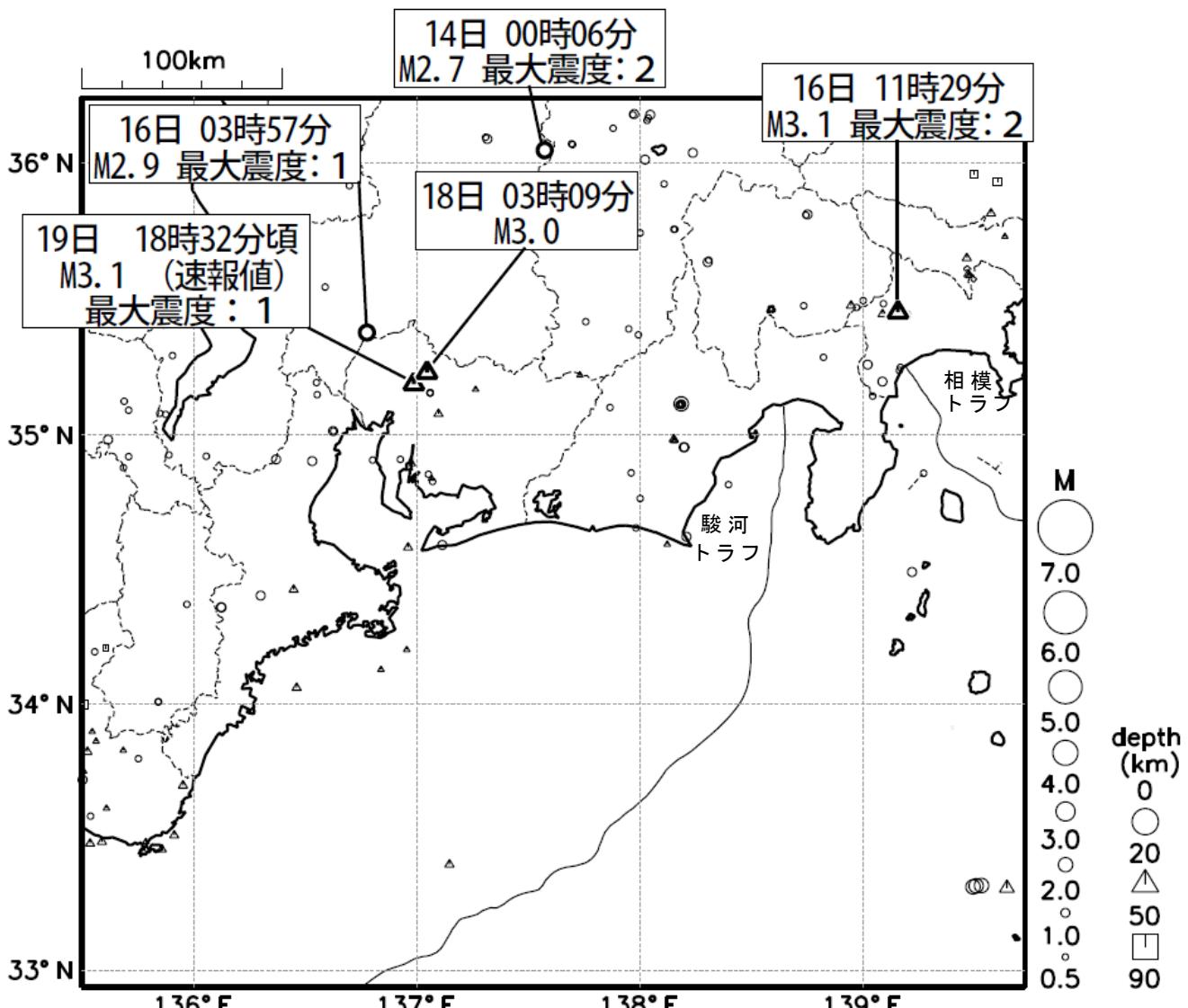


東海地域の週間地震活動概況 No. 42

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図 (2017年10月13日～10月19日)



“震度1以上を観測した地震”、“東海地域でM3.0以上、その他の地域でM4.0以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している ($M \geq 0.5$ 、震源の深さ0～90km)。

[概況]

特に目立った活動はなかった。

【東海地域】

【地震活動】

- 18日03時09分に、愛知県西部の深さ41kmでM3.0の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。
- 19日18時32分頃に、愛知県西部の深さ約40kmでM3.1（速報値）の地震（最大震度1）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。

【深部低周波地震（微動）活動】

- 特に目立った活動はなかった。

【その他の地域】

- 特に目立った活動はなかった。

※上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみ表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。